

2021 年度前期における 共通教育初回授業・履修登録アンケートの分析

平井 佑樹 高野 嘉寿彦 小山 茂喜

キーワード：初年次教育 初回授業 履修登録 コロナ禍 質問紙調査

信州大学（以下、本学）では、2021 年度前期の共通教育科目における基盤系の統計・科学史・現代社会論および教養系に属する科目の初回授業を二部制で実施した。これは、初回授業において履修希望者が講義室に集中することを防ぐために実施された。本稿では、2021 年度前期終了時に実施した「共通教育初回授業・履修登録アンケート（以下、本アンケート）」の分析結果を報告し、学生から二部制の導入を歓迎する意見が得られたことを示す。

1. はじめに

新型コロナウイルス COVID-19 の感染症拡大に伴い、本学における 2020 年度の授業は原則オンラインで開講された。2021 年度の授業は原則対面で開講されることになったものの、引き続き感染症対策を行う必要があった。本学の 2021 年度共通教育履修案内[1]によれば、大学で授業を受ける際に気を付けることとして、次の 7 点が示されている。

- 建物内では常時マスクを着用する。
- 教室入退室時に、手指消毒および石鹸による手洗いを必ず行う。
- 入室時に、入口に設置されているカードリーダーで認証を行う。
- 入退室時に密集しないよう、時間に余裕を持って入退室を行う。
- 着席前に、教室備え付けのペーパータオルと消毒液で自身が座る席の消毒を行う。
- 座席間の距離を空けるため、「使用禁止」の貼紙がある座席には座らない。
- 座席を移動させた場合は、必ず元の状態に戻す。

これらのような感染症対策を行ったため、机が固定されている教室では、座席数が従前の約半数となった。

現行の履修登録日程では、本学で開講されている多くの科目について、受講者は 1 回目の授業後に履修登録を行うことができるようになっている。そのため、座席数を大幅に超える受講者が 1 回目の授業で出席するような科目が出てくる可能性があった。これを受け本学全学教育機構では、共通教育科目において、そのような科目が含まれ

る基盤系の統計・科学史・現代社会論および教養系に属する科目の初回授業を二部制で実施した。二部制の概要は次の6点である[1]。

- 授業時間 90 分を、「第一部 40 分、移動時間 10 分、第二部 40 分」に分割する。
- 第一部・第二部ともに同じ内容であり、どちらを受講しても良い。
- 教室定員を超える受講者が集まった場合は入室制限を行う。
- 第一部・第二部どちらも入室できなかった場合は、後刻、オンラインで受講する。
- 初回授業後、履修希望者は本学専用の「履修抽選システム」にエントリーする。
- エントリー期間や抽選結果発表は表 1 に示す日程で行われる。集中講義については、講義によって初回授業日が異なるものの、別途指示がある場合を除いて、履修抽選システムへのエントリーは金曜日授業と同日に行う。

履修希望者が履修抽選システムにエントリーし、表 1 に示すエントリー期間が終わるとコンピュータが自動的に抽選を行い、履修者を確定する。初回抽選後に各授業で定めた定員に達しなかった授業については追加募集を行い、初回募集と同様に履修抽選システムにエントリーする。なお、履修者が確定した後でも、学生によって履修登録を取り消すことが認められており（ただし、演習・実習形式の授業を取り消す場合は、授業担当教員の許可が必要）、2021 年度前期の授業については 4 月 28 日から 5 月 28 日が履修取消期間として定められていた。

本研究の目的は、2021 年度前期終了時に本学学部 1 年生全員を対象として実施した本アンケートの結果を集計し、二部制の導入が有効であったかどうかを分析することである。以降、本稿では、2 章で関連研究の内容を述べ、3 章で本アンケートの概要、4 章で集計結果を述べる。その後、5 章で考察を述べ、6 章で本研究をまとめる。

表 1 2021 年度前期の該当授業におけるエントリー期間および抽選結果発表日

対象授業	初回 授業日	初回募集		追加募集 (空きがある授業のみ)	
		エントリー 期間	結果発表日	エントリー 期間	結果発表日
水曜日授業	4/7(水)	4/7(水) 0:00～23:59	4/8(木)	4/13(火) 0:00～14:59	4/13(火) 15:00 ～4/14(水)
木曜日授業	4/8(木)	4/8(木) 0:00～23:59	4/9(金)	4/14(水) 0:00～14:59	4/14(水) 15:00 ～4/15(木)
金曜日授業 集中講義	4/9(金)	4/9(金) 0:00～23:59	4/12(月)	4/15(木) 0:00～14:59	4/15(木) 15:00 ～4/16(金)
月曜日授業	4/12(月)	4/12(月) 0:00～23:59	4/13(火)	4/16(金) 0:00～14:59	4/16(金) 15:00 ～4/19(月)
火曜日授業	4/13(火)	4/13(火) 0:00～23:59	4/14(水)	4/19(月) 0:00～14:59	4/19(月) 15:00 ～4/20(火)

2. 関連研究

少し古い記録ではあるものの、本研究の結果を考察する上で、小林の報告[2]が参考になる。この報告によれば、文教大学国際学部における初回授業において、授業時間を2分割し、授業の概要説明を2回繰り返す取組を行っている。

この取組と本学の取組を比較すると、授業時間の配分や学部1年生対象の授業で実施している点は同様である。しかしながら、当該学部では、学生からの「授業時間を2分割して1コマに2つの授業を受けられるようにしてほしい」という要望に応えることや、教員からの「初回授業は受講生が確定していないので本格的な授業を開始しにくい」や「第2回では、初回に出ていない学生もいるので概要説明を再度繰り返す必要もあり非効率である」という不満を解消するために二部制を導入している。すなわち、導入目的が本学と異なっている。

小林によれば、二部制を導入したことについて、アンケート回答者の半数以上が「あてはまる」と回答した項目は次の3点であり、肯定的に受け止めていたとしている。

- 来年度も実施することを希望する。
- 授業を受けてから履修科目を決められる。
- 履修したい科目が重なったときに選びやすい。

一方、教員からは、

- 学生にとっては良い制度だと思う。
- 学生への周知が不十分である。
- 同じことを繰り返すので教員の負担が大きい。
- (二部制の) 2回目の出席者が極端に少ない。
- 授業回数が1回少なくなる。
- 第2回から出席する学生数が依然として多い。

などの意見が寄せられたとしている。

二部制導入後も第2回から出席する学生が多かったことなどから、小林は「二部制の導入は失敗に終わった」と報告しているものの、学生にとっては良い制度であり、「初回授業二部制を生かすも殺すも学生次第である」と結論付けている。本研究では、教員を対象としたアンケートは実施していないものの、学生を対象としたアンケートを分析した結果、二部制の導入を歓迎する意見が得られたことを示す。

3. 本アンケートの概要

表2に本アンケートの概要を示す。また、具体的な質問項目を付録で示す。本研究で取り上げている二部制は2021年度前期に初めて実施されたものであるため、本アンケートも初めて実施している。そのため、分析の観点を特に設けることはせず、学生の反応を見ることを主目的とした。質問項目は大きく次の3点であり、最後に二部制に対する意見や要望等を聞いている。

- 基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の授業について
- 履修登録手続について
- 利用端末について

回答は、本学において全学的に利用されている教育基盤システム eALPS（学習管理システムである Moodle をベースとしたシステム）で受け付けた。また、回答期間は、本学 2021 年度共通教育学年暦[3]において前期の 15 週目が始まる 7 月 16 日から約 1 ヶ月間とした。本アンケートへの回答は任意であったものの、回答受付期間の延長やリマインドメールを送る対応を行ったことにより、回答率が約 7 割となった。なお、倫理面での配慮として、次の 4 点を伝えた上で回答を依頼した。

- 回答内容はすべて統計的に処理すること
- 個人が特定される形で公表しないこと
- 回答内容が授業の成績に影響しないこと
- 回答受付期間中であれば何回回答しても良く、複数回の回答があった場合は最新の回答を利用すること

表 2 本アンケートの概要

項目	説明
調査目的	初回授業方法および履修登録方法に関する学生の反応を見ること
対象者	2021 年度学部 1 年次生全員 (2,023 名)
期間	2021 年 7 月 16 日～8 月 26 日
回答方法	eALPS 上のアンケートフォームに入力（無記名式）
回答率	69.7%（≒1,410 / 2,023 名）
質問項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の授業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 履修する授業は、初回授業に出席してから決めたいか ・ 履修する授業を選択する上で、決め手となった情報は何か ● 履修登録手続について <ul style="list-style-type: none"> ・ 手続の時期についてどう思うか ・ 手続の期間についてどう思うか ● 利用端末について <ul style="list-style-type: none"> ・ 履修登録を行う際、主にどの端末を使用していたか ・ オンライン授業の際、主にどの端末を使用していたか ・ 大学入学以前、パソコンを使ったことはあるか ・ 現住居でネットワークを使用できるようになったのはいつ頃か ● 初回授業二部制の実施・履修登録手続についての意見・要望等 <p>※最後の意見・要望等のみ自由記述式。他は単選択式または複数選択式（その他を選択した場合は自由記述あり）。</p> <p>※自由記述式を除く、すべての質問項目が回答必須</p>

4. 本アンケートの集計結果

本章では、表2で示した質問項目の概要に沿って集計結果を示す。以降、単選択式または複数選択式の質問項目については、本学の部局（人文学部、教育学部、経法学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、工学部、農学部、繊維学部の9部局）ごとに結果を示す。ただし、部局の特定を避けるため、部局名としてアルファベットのA, B, C, ..., Iを用いている。このため、各選択肢の回答数は示していないものの、本稿全体を通して、例えば「部局A」はすべて同一部局である。

4. 1 基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の授業について

図1は、付録で示した質問項目1（履修する授業は、初回授業に出席してから決めたいか）に対する集計結果である。どの部局においても、5件法で「強くそう思う」あるいは「そう思う」のどちらかを回答した割合が8割を超えており、学生にとって、初回授業が履修登録を決める上で重要であることが伺える。

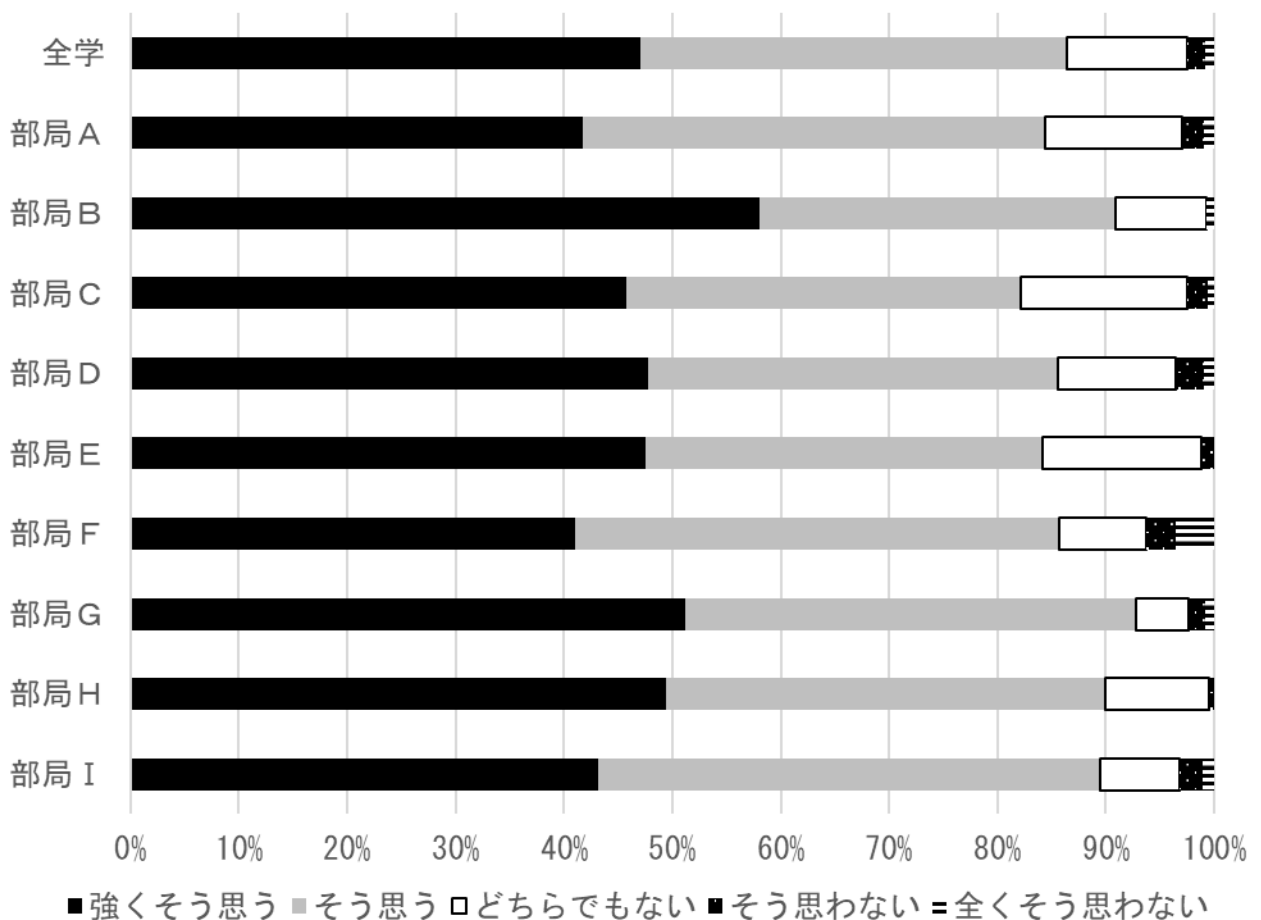


図1 履修する授業は、初回授業に出席してから決めたいか（単選択）

表3は、付録で示した質問項目2（履修エントリーする授業を選択するうえで決め手となった情報）に対する集計結果である。この質問項目では、表3における「授業の科目区分」から「その他」までの6つが選択肢として与えられており、複数選択できる。各回答者の選択数を集計して平均値を算出し、その結果を表3の最右列に示した。なお、「その他」は全学で23名が選択し、そのうちの19名について、具体的に次のような記述があった。

- 評判、同僚や先輩の意見（4名）
- 抽選倍率（3名）
- 必修であった（3名）
- 担当教員の所属、雰囲気（2名）
- 成績評価方法、課題の形式（2名）
- 面白そうかどうか（1名）
- 受講可能人数（1名）
- 後期に受講予定（1名）
- 難易度（1名）
- 追加募集で空きがあった科目（1名）

表3の選択数平均を見ると、どの部局の回答者も2つ程度選択していることが分かる。部局Bと部局Fを除いて最も選択率が高かった選択肢は、「シラバスの内容」であり、次いで「開講曜日・時限」であった。「初回授業での説明」については、どの部局でも、4割強の回答者が選択しており、図1で示した結果と同様、この質問項目に対する集計結果からも、初回授業が履修登録を決める上で重要であることが伺える。

表3 履修エントリーする授業を選択するうえで決め手となった情報（複数選択可）

	授業の 科目 区分	シラ バス の内容	初回授 業での 説明	授業 の名称	開講 曜日 ・時限	その他	選択数 平均
全学	37%	61%	45%	27%	51%	2%	2.23
部局A	28%	58%	42%	22%	44%	2%	1.95
部局B	29%	61%	52%	29%	50%	3%	2.24
部局C	33%	58%	44%	30%	48%	1%	2.14
部局D	41%	62%	47%	24%	58%	2%	2.33
部局E	50%	63%	41%	28%	59%	1%	2.43
部局F	32%	46%	46%	31%	54%	1%	2.09
部局G	43%	70%	48%	26%	54%	1%	2.41
部局H	46%	67%	43%	28%	51%	3%	2.38
部局I	46%	71%	43%	23%	57%	0%	2.40

4. 2 履修登録手続について

図2および図3は、付録で示した質問項目3（履修登録手続の時期）および質問項目4（履修登録手続の期間）に対する集計結果である。どちらの項目についても、「ちょうど良い」の選択率が最も高いが、「早い」や「短い」を選択している学生が3割から4割程度いることが分かる。

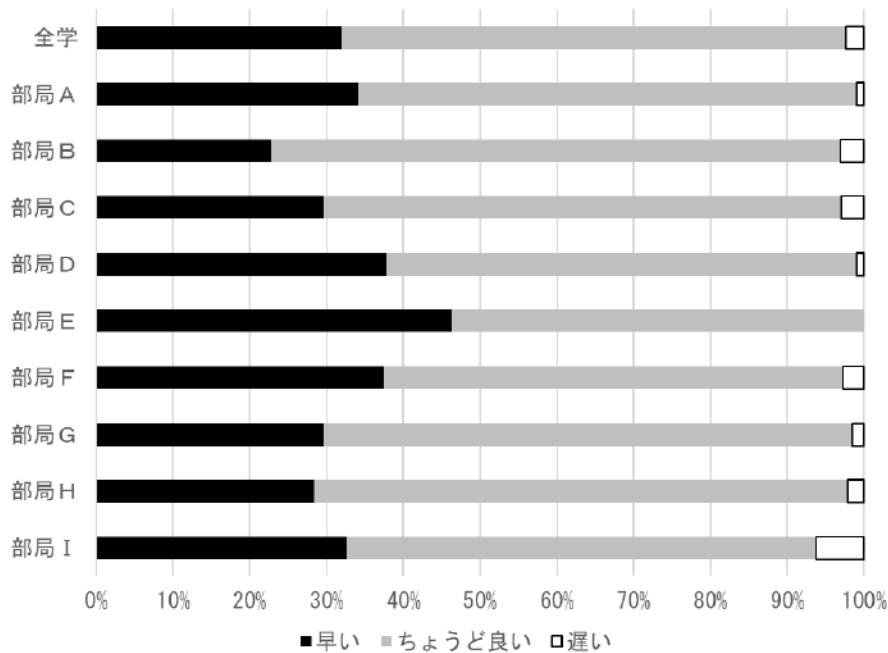


図2 履修登録手続の時期（単選択）

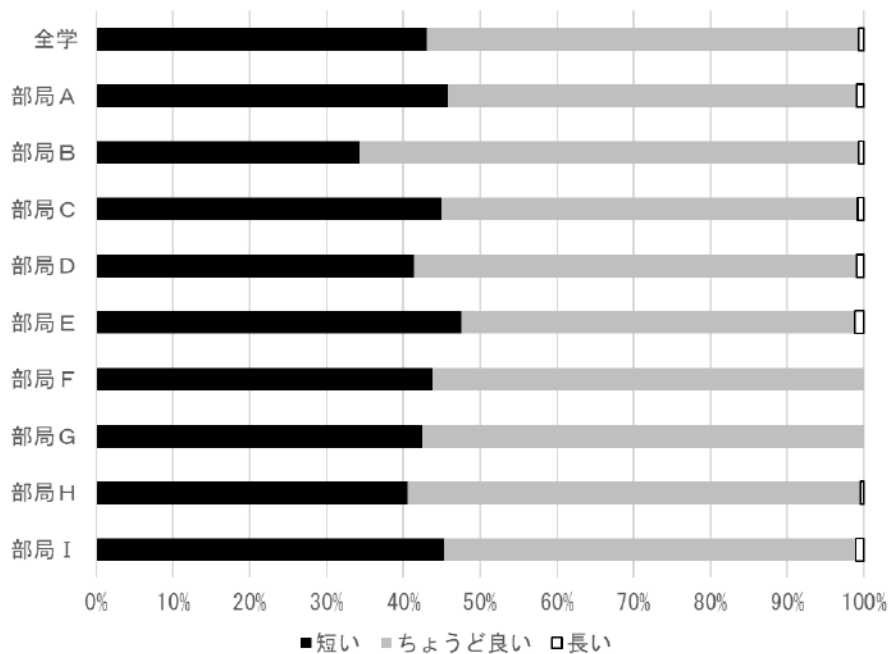


図3 履修登録手続の期間（単選択）

4. 3 利用端末について

付録で示した質問項目 5 (履修登録を行う際の利用端末) から質問項目 8 (現住居でネットワークを利用できるようになった時期) については、各回答者のコンピュータ利用状況を問うており、初回授業や履修登録方法が現状のとおりで問題ないかどうかを確認している。

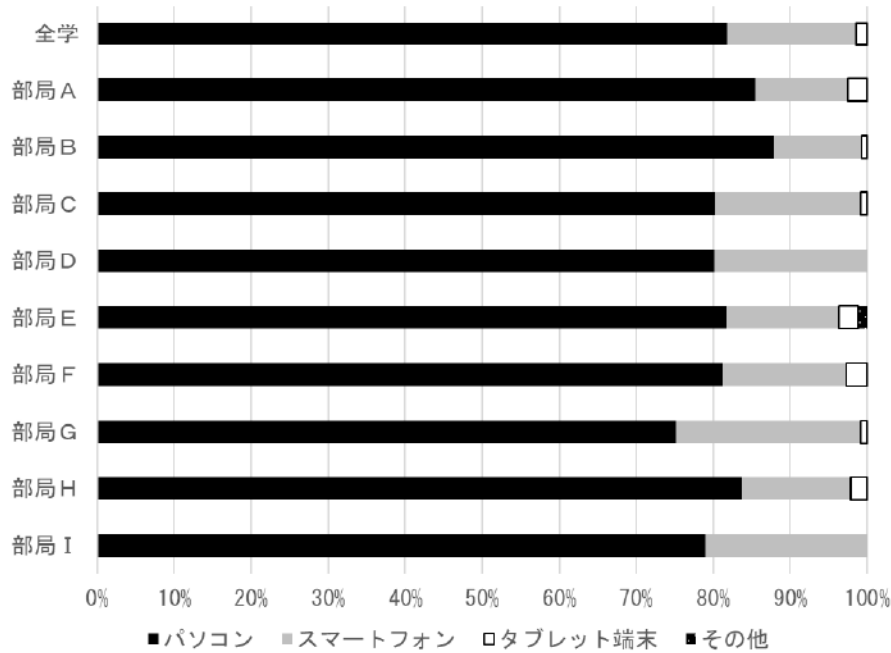


図4 履修登録を行う際、主にどの端末を使用していたか (単選択)

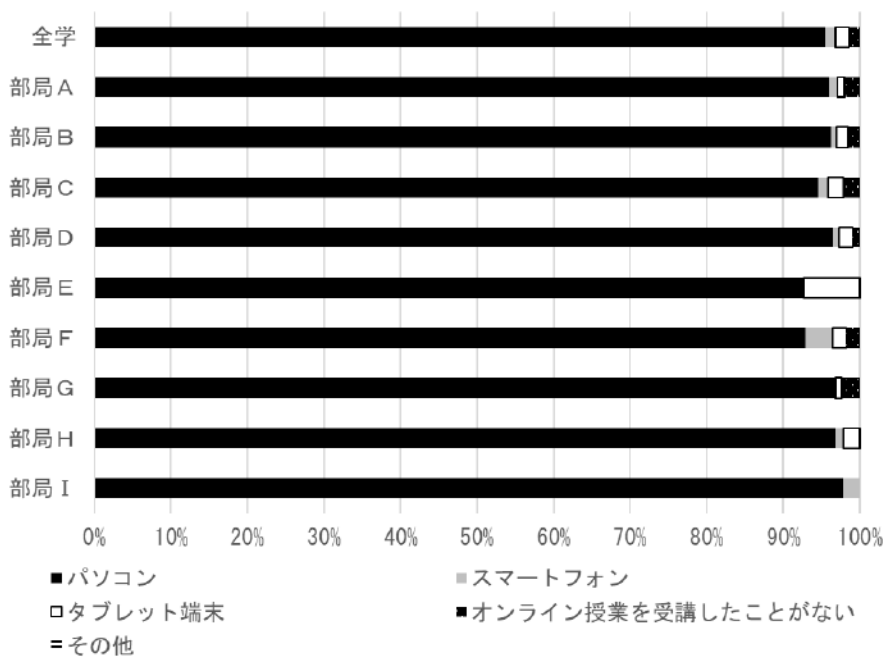


図5 オンライン授業を受講する際、主にどの端末を使用していたか (単選択)

図4や図5を見ると、どの部局においても、大多数の学生がパソコンで履修登録やオンライン授業の受講を行っていることが分かる。ただし、図6を見ると、パソコンを大学入学以前に「よく使っていた」と回答したのは2割から3割程度、「たまに使っていた」まで含めても6割から7割程度に留まっている。このことから、大学に入学してからパソコンを使うようになったという学生が一定数いることが伺える。パソコンに接続しているネットワークであるとは限らないものの、図7を見ると、9割以上の学生が前期授業開始前にネットワークを利用できる状況にあったことが分かる。

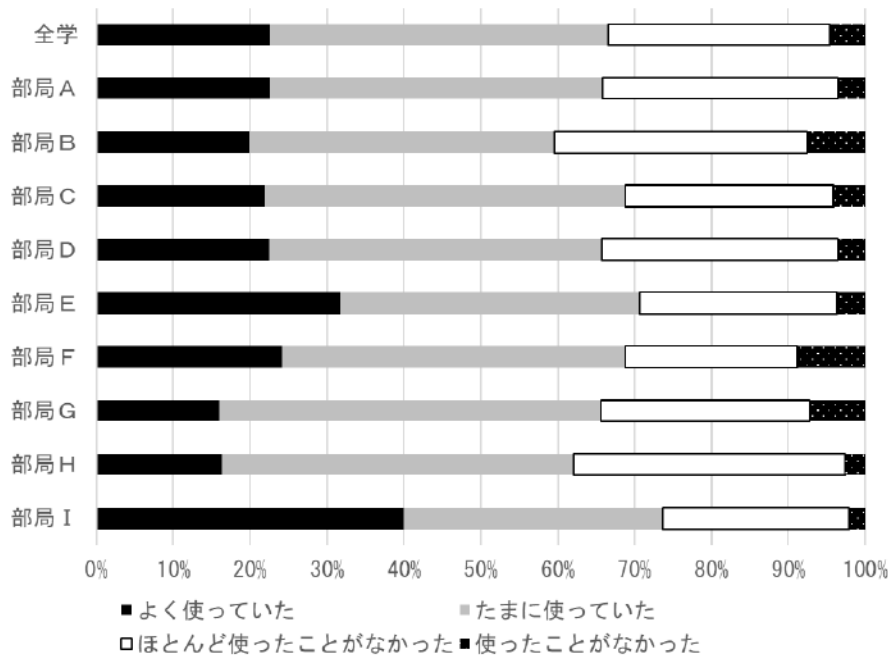


図6 大学入学以前、パソコンを使ったことはあったか（単選択）

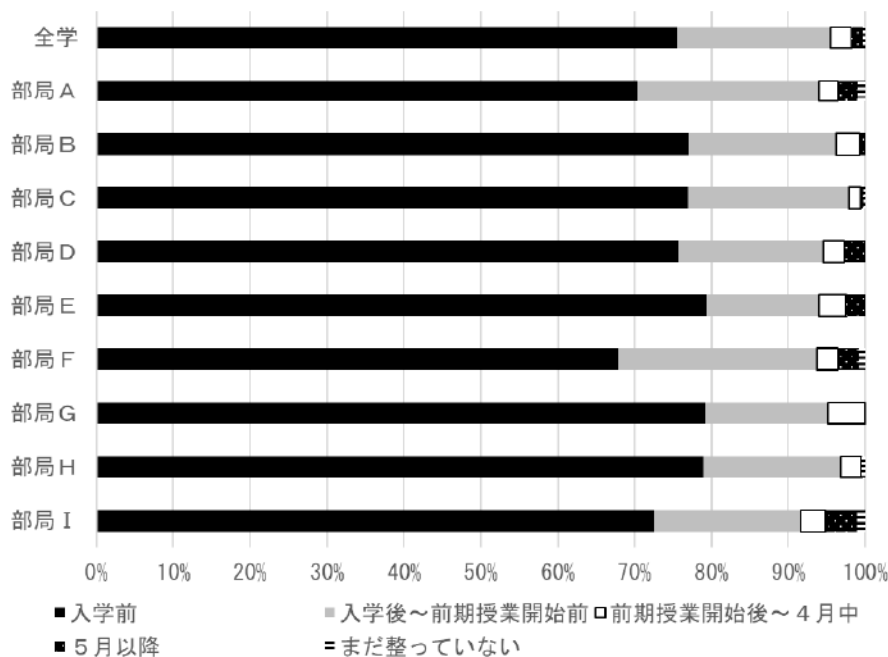


図7 現住居でネットワークを使用できるようになったのはいつ頃か（単選択）

表4 意見・要望等のまとめ

分類	主な回答
二部制 ・定員 (39)	<ul style="list-style-type: none"> ● どちらも受けてみてから決められるのでこれからも続けてほしい。 ● 密にならずに様々な講義に参加できるのが良い。 ● 後半になっても教室に入れなかったことがあった。 ● 二部制ではなく、同名の講義を増やしてほしい。 ● 初回授業はすべてオンラインまたはオンデマンドにしてほしい。
履修登録 ・抽選 (61)	<ul style="list-style-type: none"> ● 一日ごとの抽選では不平等になるため、一週間後にすべての授業にエントリーすれば良いと思った。 ● 履修要件を満たしていない人を優先するなどの配慮がほしい。 ● 受けたい授業を履修することができない。 ● 抽選結果が出るまでほかの授業の時間割を組むことができない。 ● 抽選で落ちた時、もう少し履修登録の時間がほしい。
制度の 説明 (27)	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと詳しく先輩や先生方から聞ける機会があったら良い。 ● 履修登録方法が分かりづらい。 ● 入学直後は不安なので履修方法をもっと詳しく説明してほしい。

※分類の括弧内は回答者数を示す。

4. 4 初回授業二部制の実施・履修登録手続についての意見・要望等

付録で示した質問項目9（初回授業の二部制や履修登録手続に関する意見・要望等）に対し、163名から回答があった。このうち32名が「特になし」などと回答し、4名が本項目に対する回答とは判断できないものであった。表4は、残りの127名の回答を大きく「二部制・定員」「抽選・履修登録」「制度の説明」の3つに分類して、それらの主な回答を示したものである。出された意見や要望等については5章で取り扱う。

5. 考察

本章では、表4で示した3つの分類にしたがって、本アンケートで得られた結果および二部制や履修登録方法について考察する。

5. 1 二部制・定員

表4で示した39名のうち、21名から二部制を歓迎する意見が得られた。一方で、それ以外の18名から、同名の講義を複数開講するなどして定員を増やすこと、あるいは、オンラインまたはオンデマンドによる開講を希望することなどの意見が得られた。

「新型コロナウイルス感染症対策」に関する否定的な意見が出なかったこと、かつ、

結果としてクラスター等が発生しなかったことから、感染症対策という点で二部制の導入に問題はなかったと考えることができる。一方、制度上の問題として、第二部になっても入室できない、すなわち授業の1コマ分(90分間)を無駄に過ごさざるを得ない状況となった学生が一定数いた可能性もあり、そのような学生が出ると予想される講義においては、例えば、ハイフレックス型授業(同じ授業を対面授業とオンライン授業の双方で受講できる方法)を実施する配慮が必要であると思われる。図5で示したように、9割以上の学生がパソコンを用いたオンライン授業を経験しており、図7で示したように、9割以上の学生が授業開始前に各学生の現住居でネットワークを使用できるようになっているため、授業の出席方法等をきちんと説明すれば、環境面での問題は起きにくいと考えられる。

5. 2 履修登録・抽選

表4で示した履修登録・抽選に関する意見や要望については、二部制の導入以前から得られているものである。本学では、開講されている共通教育科目について、受講者を定員にしたがって適切に割り振れば、すべての学生の履修要件を満たすことができるようになっている。しかし、この項目についても、人気が高い講義に学生が集中することが起因となって、表4に示すような意見や要望が出されたと考えられる。

これを解決するための方法として、例えば、前述のハイフレックス型講義を実施する、あるいは開講コマ数を増やして定員を増やすことが考えられる。しかし、どのような対応を取ったとしても、担当教職員の負担が増える可能性が高い。そのため、履修希望者が定員を超えた場合は抽選ではなく、エッセイなどを提出させて履修者を決定する方が、現状よりも不満が小さくなるかもしれない。

5. 3 制度の説明

初回授業の二部制に限った話ではないと考えられるが、履修登録方法が分かりづらいという意見もあった。当然ながら、履修登録方法については共通教育履修案内[1]に記載されているため、それを熟読すれば良い。しかし、学年暦[3]を見ると、2021年度は、4月2日、4月4日、4月5日のガイダンスの後、2日後には初回授業が始まる日程となっている。表1で示したとおり、4月7日にエントリーしなければならない授業がある学生にとっては、熟読する前にエントリー期間が始まってしまう可能性がある。さらに、履修する授業があらかじめ決められているなどで履修抽選システムを使わない講義や、Google Formを利用して4月5日15時までにエントリーする講義(学術リテラシー)などがあるため、履修方法が複雑になっていることは否めない。

これを解決するためには、例えば、授業開始までの日程に余裕をもたせる、あるいは、表4に示したとおり先輩や教員等が対応する相談窓口を設置するなどのサポート体制を整えることが考えられる。本稿執筆時点において、本学の教育・学生支援連絡調整会議[4]では、この問題の解決に向けた取組が進められており、2022年度の新入生

に対しては、何らかの有効的な支援が行われるものと見られる。

6. おわりに

本研究では、2021年度前期に開講された共通教育科目の初回授業や履修登録方法について問うたアンケートの結果を分析し、2021年度に初めて導入した初回授業二部制の有効性や履修登録方法の是非について検証した。5章で述べたとおり、新型コロナウイルス感染症対策としては問題なく、二部制の導入を歓迎する意見が得られた。しかしながら、人気が高い授業では履修希望者が集中してしまい、それを起因として様々な意見や要望が本アンケートで出されたことを本稿で示した。また、二部制の導入によって、履修登録方法が従前より複雑になっており、大学で初めて過ごす学部1年生に向けては、十分な支援が必要になることも述べた。

2021年度後期については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、初回授業および第2回授業が原則オンラインで開講されている。また、今後の感染状況によっては、2022年度前期も同様の措置を行う可能性があるため、今後も二部制を継続するかについては未定である。2章で述べたとおり、教職員を対象とした意見聴取等を行っていないため、それを行うことが今後の課題となる。また、二部制の導入に関係なく、履修希望が集中する理由やその逆の理由を探り、それを受けて適切に制度や授業内容・方法を改善していくことも必要となる。

謝辞

本アンケートにご協力いただいた学生の皆様、また、本アンケートの実施にご協力いただいた本学学務部学務課共通教育支援室の皆様に感謝する。

参考文献

1. 信州大学全学教育機構: 2021年度共通教育履修案内抜粋,
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/general/98a0c01a74b81dfeed9ce561f7bf7119_1.pdf.
[参照: 2021年12月13日]
2. 小林勝法: 初回授業2部制導入の失敗, 文教大学国際学部紀要, Vol. 11, No. 1, pp. 149-158 (2000).
3. 信州大学全学教育機構: 2021年度共通教育学年暦,
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/general/2216a49adb65be4a9e5e3002ec8e1e9c_1.pdf.
[参照: 2021年12月13日]
4. 信州大学教育・学生支援連絡調整会議,
<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/frame/frame110000787.htm>.
[参照: 2021年12月13日]

(平井 佑樹 信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 准教授)
(高野 嘉寿彦 信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 教授)
(小山 茂喜 信州大学 総合人間科学系 教職支援センター 教授)

2022年1月5日受理 2022年1月20日採録決定

付録 質問紙

表 A 共通教育初回授業・履修登録アンケートの質問項目 (前半)

今年度は教室が密になることを避けるため、全学部の学生が対象となる教養系等の初回授業を二部制で実施しました。次学期以降に向けた改善のため、初回の授業実施方法、履修登録手続に関するアンケートにご協力ください。

★1. 基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の授業のエントリーについてお聞きします。履修エントリーする授業は、初回授業に出席してみたいから決めたいですか？（単選択）

- (1) 強くそう思う
- (2) そう思う
- (3) どちらでもない
- (4) そう思わない
- (5) 全くそう思わない

★2. 基盤系（統計・科学史・現代社会論）および教養系の授業のエントリーについてお聞きします。履修エントリーする授業を選択するうえで、決め手となった情報は何かありますか？（複数選択可）

- (1) 授業の科目区分
- (2) シラバスの内容
- (3) 初回授業での説明
- (4) 授業の名称
- (5) 授業の開講曜日・時限
- (6) その他

2-2. 問2で「その他」を選択した方は、こちらにその内容を記入してください。（自由記述）

★3. 履修登録手続の時期についてどう思いますか？（単選択）

- (1) 早い
- (2) ちょうど良い
- (3) 遅い

★4. 履修登録手続の期間についてどう思いますか？（単選択）

- (1) 短い
- (2) ちょうど良い
- (3) 長い

※ 項目番号の前にある★印は回答が必須であることを示す。

表 B 共通教育初回授業・履修登録アンケートの質問項目 (後半)

★5. 履修登録を行う際、主にどの端末を使用していましたか？ (単選択)

- (1) パソコン
- (2) スマートフォン
- (3) タブレット端末
- (4) その他

5-2. 問5で「その他」を選択した方は、こちらにその内容を記入してください。
(自由記述)

★6. オンライン授業を受講する際、主にどの端末を使用していましたか？ (単選択)

- (1) パソコン
- (2) スマートフォン
- (3) タブレット端末
- (4) オンライン授業を受けたことがない
- (5) その他

6-2. 問6で「その他」を選択した方は、こちらにその内容を記入してください。
(自由記述)

★7. 大学入学以前、パソコンを使ったことはありましたか？ (単選択)

- (1) よく使っていた
- (2) たまに使っていた
- (3) ほとんど使ったことはなかった
- (4) 使ったことがなかった

★8. 現在住んでいる住居でネットワークを使用できるようになったのはいつ頃ですか？ (単選択)

- (1) 入学前
- (2) 入学後～前期授業開始前
- (3) 前期授業開始後～4月中
- (4) 5月以降
- (5) まだ整っていない

9. 初回授業の二部制での実施について、また履修登録手続について、意見・要望・困ったこと等があれば書いてください。(自由記述)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※項目番号の前にある★印は回答が必須であることを示す。